白馬八方尾根～押出沢

2009 年 2 月 1 日（日）

橋立、他（First Decent）

2 月 1 日、この年始ユタに一緒に滑りに行った友人が所属するスキーチームに同行し、白馬八方尾根で滑ってきた。友人は、神戸からめげずに毎週白馬に来て、バックカントリーで滑りまくっている、パウダー好きのスキーバカだ。白馬では 2 日前の金曜日夜から雨が降り、土曜日も午前中まで雨が降り続いた。真冬のこの時期に白馬で雨が降るなんて信じられない。夜には麓にも雪が降り一安心だったが、相当フラストレーションがたまってしまった。

当日、栂池から白馬乗鞍に登ろうと思ったが、風が強くゴンドラが止まっていて一向に動く気配がない。結局栂池は諦めて、八方の押出沢に行くことにした。スキー場トップにから歩き始めたのは 10:30。前日雨だったためか入山するパーティーは少ない。押出沢のドロップポイントは、夏季トイレ小屋辺りの北側斜面。ここまではたった 30 分強の歩きだ。標高は約 2000m を越えるくらい。

雪の状態が気になるので、少し斜面を下りてピットを掘ってみた。この辺りは雪だったようで、新雪が 25～30cm ほど積もっている。新雪はソフトでスラブ化していないため、恐らく滑っても問題ないだろうと判断し、身支度整え早速ドロップすることにした。

上部は、浅いが軽いパウダーだ。山の上はガスに包まれてしまい視界が悪い。視界が晴れた瞬間を狙い滑る。徐々に標高を落としていくと、1700m 付近から下は雨だったようで、雪がカチカチのガリガリに変わってきた。この雪では滑れてもちっとも楽しくない。ここからは安全に下ることを念頭に滑る。途中雨で雪崩れた斜面を横切るが気持ちの良いものではない。更に下り、ガラガラ沢の出会いで更に大きななだれ跡を横切る。ここは板を外し急ぎ足で横切る。ここまで来ると何をしているのか分からなくなってくる。滑りに来たというよりは、修行に来たと言ってもおかしくない。苦労して南股入まで下り、途中、沢を渡って反対岸に渡る。後は林道を下り、車をデポした二股までダラダラ下る。滑りを終えて、下ってきた斜面を振り返る。下部はところどころ、雪が割れて地肌が見えている箇所がある。雨のせいだろう。それに気温も高めの日が多いせいもあるだろう。2 月の白馬にしてはあまりにも醜い。

今回、上部に限っては、楽しい滑りが出来たが、下部はつらい修行だった。しかし八方のでかいオープンバーンは魅力的だ。コンディションの良い日にまた来たい。

コース　八方尾根トップ（10:30）→夏季トイレ小屋（11:10）→押出沢滑降（12:00）→南沢（13:30）→二股（14:30）